

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 3年 6月 17日

和歌山県知事
仁坂 吉伸 殿

提出者

住 所 御坊市湯川町財部728-4

氏 名 社会医療法人 黎明会
理事長 北出 貴嗣

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0738-22-8868

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	社会医療法人 黎明会 北出病院
事業場の所在地	御坊市湯川町財部728-4
計画期間	令和 3年 4月 1日 ~ 令和 4年 3月 31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	医療業							
② 事業の規模	病床数182床 (一般病床131床 療養病床51床)							
③ 従業員数	685名							
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	<table border="1"><tr><td>病室・手術室・処置室等</td><td>→</td><td>感染性医療廃棄物</td><td>→</td><td>保管</td><td>→</td><td>最終処分</td></tr></table>	病室・手術室・処置室等	→	感染性医療廃棄物	→	保管	→	最終処分
病室・手術室・処置室等	→	感染性医療廃棄物	→	保管	→	最終処分		

(日本産業規格 A列4番)

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	排出量	136.86 t	t
	(これまでに実施した取組) 外来、入院患者数の状況により排出量は左右され、今年度は、新型コロナウイルスの感染対策もあり、目標値より1.86t上回った。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	排出量	135.00 t	t
	(今後実施する予定の取組) 今年度以降も、新型コロナウイルスの感染対策等もあり、排出量は、増加見込み。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 医療現場から発生する感染性廃棄物であり、堅牢プラスチックケースを利用している。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 感染性廃棄物であり、これまで実施した取組を継続するとともに、感染性と非感染性の区分をきちんと管理し廃棄物の減量に努める。

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 2 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	- t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら直接再利用は行わない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	- t	t
	(今後実施する予定の取組) 自ら直接再利用は行わない。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 2 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	- t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	- t	t
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	- t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	- t	t
(今後実施する予定の取組) 自ら中間処理は行わない。			

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（ 2 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	自ら埋立処分を行なった特別管理産業廃棄物の量	- t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら埋立処分は行わない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	- t	t
	(今後実施する予定の取組) 自ら埋立処分は行わない。		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	全処理委託量	136.86 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	136.86 t	t
	再生利用業者への処理委託量	- t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	t
	(これまでに実施した取組) 処理業者と委託契約するに当たっては、事前の現地確認（処理状況、維持管理状況、周辺状況）を行うとともに、委託後に定期的な確認を行う。		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	全 処 理 委 託 量	136.86	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	136.86	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	-	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	-	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	-	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>これまでに実施した取組を継続する。更に、適正な委託先の選定に当たっては、有料産業廃棄物処理業者に関する情報、公開される産業廃棄物処理施設の維持管理情報等を活用する。</p>		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（ 2 年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	136.86	t
	<p>(今後実施する予定の取組等)</p> <p>令和2年4月1日より公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターの電子マニフェストを利用開始。 今後も、電子マニフェストによる運用を継続する。</p>		
※事務処理欄			

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(1) 責任者及び管理組織図

管理責任者		職名：院長
現場責任者		現場作業場 職名：感染担当看護師
保管担当者		保管現場作業所 職名：営繕担当職員
役割	管理責任者	① 運搬、処理業者の委託契約の確認 ② 現場責任者、保管担当者の監督指導 ③ 産業廃棄物の関係法規の衆知
	現場責任者	① 感染性廃棄物取扱マニュアルの策定 ② 関係職員への教育、啓発指導等 ③ 感染性廃棄物処理法及び関係法令を順守した作業の推進
	保管担当者	① マニフェストの受領 ② 産業廃棄物の分別 ③ 保管業務

組織図

